

米国特許実務改善のポイント、 米国代理人費用を削減するために 日本側でできること

米国代理人の効果的な活用法を経験豊富な講師が詳細に解説!

■開催日時

2026年4月17日 [金]

◆時間14:00～16:30(途中休憩有り)

★オンデマンド視聴可能

申し込んでいただいた皆様には、セミナー終了後にセミナーを録画した動画(2週間閲覧可能)の閲覧用URLをお送りいたしますので、セミナー当日に都合がつかない方も受講可能です。

日本企業の知財戦略が世界展開される現代において、海外代理人の費用管理は現実の主要な課題と思われます。

特に、米国代理人費用は世界でも最も高額といわれており、その費用管理は特許件数が多くなればなるほど重要な問題となってきます。昨今、世界的なインフレ、円安状況を鑑みると、今後も米国代理人の費用管理の重要度は高まっていくと思われます。

米国代理人は米国特許実務に適した専門家であり、彼らの知識・経験を全く使わないということは現実的ではありません。その一方、すべての案件に対して同じように米国代理人に依頼するというのも、コスト面から非合理的な印象があります。つまり、費用管理の点では、代理人を使う場合と使わない場合とを使い分けるといことが重要になると考えます。また、不注意な指示内容で米国代理人を混乱させないことや、日本側で米国対策を事前に行っておくことなどは、米国費用を削減するために効果的な対策といえます。

本セミナーでは、米国代理人費用を削減するためのポイントを紹介します。本セミナーを受講することにより、米国代理人の効果的な活用法を理解することができ、今後の低費用化を促進できるものと期待します。

●講師：日本弁理士(1999年登録)

米国パテント・エージェント(2010年登録) 吉田 哲 氏

●会場：Zoomを使ったオンラインセミナー